

4月29日 午前8時30分～11時

全教一斉ひのきしんデー

(場所)

松原中央公園&市民プール周辺
《 除草と清掃 》

家族そろって!! 友達誘って!!

近所のようにぼくと一緒に

※駐車場は市役所前広場

★参加カードについて

一枚のカードに4名記入できるようになっていますが、集計の都合上、大人も子供も1名で一枚にご記入頂ければ有難いです。尚、参加カードは会場受付テントでも用意しております。



献血ひのきしんも行います

場所：松原テラス（中央公園の前）

献血受付時間

9 : 45 ~ 12 : 00

13 : 00 ~ 16 : 00

命を救おう 献血の輪

男子 17才～ 女子 18才～ 体重 50kg以上

支部活動連絡版

◎布教部

定例にをいがけデー

4月28日(日)13時～14時

河内松原駅前 交番横広場

神名流し・路傍講演・チラシ配り・
ごみ拾い etc

服装：自由 チラシは各自でお持ちください。路傍講演用のフリップ(原稿)は用意しています。

3月参加人数
男性4名

◎婦人会

* 支部婦人会例会

4月の例会は「中止」とさせていただきます。又、どうぞ宜しくお願い致します。

担当)森繁礼子

☎333-5001

天理教婦人会第101回総会

式典：4月19日(金) 9時30分

本部中庭、南・東礼拝場前、西境内地

記念行事：講演会4月19日(金)12時

(市民会館会場のみ12時15分)

テーマ

陽気ぐらしを広げよう

一人が二人の会員をご守護頂きましょう

《会場一覧》

■第二食堂

淀前支部長 金山昌代

■第三食堂(第四食堂 音声のみ)

山陰支部長 今西たきよ

■東講堂(旧別席場 音声のみ)

北海道教区主任 山本亨子

■東右第一棟講堂(同時通訳あり)

ヨーロッパ婦人会前主任 津留田きよみ

■東左第五棟講堂

千葉教区前主任 中村陽子

■天理市民会館 ※12時15分より

郡山支部長 吉村和子

★天理教婦人会ホームページ ↓

<https://fujinkai.tenrikyo.or.jp/>

天理教婦人会とは

親神様の教えを信仰する女性の集まりです

教祖のひながたをたどり、家庭や社会でたすけ合う心を育て実行していけるよう、互いに話し合い、共に学ぶ場を持ち、一人ひとりが陽気ぐらしの台となることを目標に活動しています。

※婦人会ホームページより



松原支部、本部月次祭参拝車両運行のお知らせ 《4月26日分》

○交通費 1,000円 ○昼食(お弁当、お飲物は各自) ●8:00 河内天美駅集合(出発) ●8:15 高見ノ里駅集合(出発) ●8:30 河内松原駅集合(出発)

申込先 ☎072-332-3746 本福修分教会 松本篤司まで。(※送迎先など詳細は御相談下さい。) 3/26 利用者 6名

松原支部なんでもたすけあい隊

各家庭では『一寸したいこと・一寸手を加えたいこと・一寸直したいこと』等、色々にあると思われます。しかし手が足りない、年寄りばかりで動けない、お困りの方が居られましたら、遠慮なくご相談下さい。本芝福分教会 ☎(331-0007) 小松崎 ☎(090-4301-7792)

松原支部 地域ひのきしん 【】は前月参加人数

河内天美駅前広場 第1日曜 5時～6時 【5名参加】

天美北児童公園 第2日曜 9時～10時 【 】

阿保公園 第3日曜 7時半～8時半(雨天中止) 【7名参加】

阿保東部第一公園 第4日曜 9時～10時 【4名参加】

★支部活動へのご質問等は組長にお尋ねください。

1組 大平六郎 ☎336-3185 西野々1丁目 17-28
(副組長)松本篤司 ☎332-3746 阿保1丁目 12-1

2組 綿谷善和 ☎336-5859 新堂5丁目 324-4

3組 朝倉裕三 ☎331-7914 東新町5丁目 18-15

4組 河竹久子 ☎331-3936 天美東2丁目 165-1

教区・支部ねっと

QRコードを読取るか「天理教 松原支部」で検索。



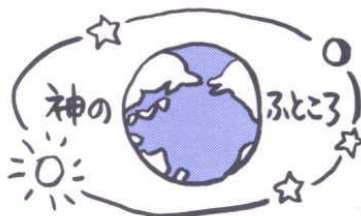
教祖のお言葉

■東西南北のへだたりについて

「人間が両手ひろげてねたごとくや」(正文遺韻抄 158頁)

「地球は、人間の体の如くや。金銀の出るは、人間の体にすれば、爪や。温泉といふは、キュウショのやうなもの、草木は毛の如く、水道は血のすぢやで。おなじ理や」(正文遺韻抄 158頁)

前項のお話に続いて、「東西南北、どの位へだゝるもの有之や」と、おうかがいしますと、教祖は、このようにお聞かせ下さいました。



ひのきしんの実践

天理教用語のなかで、世間の人によく知られているのは「ひのきしん」という言葉でしょう。大勢の人々がハッピーを着て、公園や公共施設などを清掃している姿を目にしたことがあるという人は多いと思います。

このひのきしんを、^{きんろうほうし}勤労奉仕のように思っておられる人もあるかと思いますが、もっと大切な教理の裏づけがあります。ひのきしんを漢字で書くとすれば、^ひ「日」^{きしん}「の寄進」という文字が当てられます。^{にちにち}「日々」^{きしん}「の寄進」ということです。

天理教の根本の教えは、人間は^{おやがみさま}親神様によって創造され、^{にちにちけっこう}日々結構にご守護を頂いているということです。人間は自分の力で生きているのではなく、親神様のご守護によって生かされているというのが、その核心です。

生かされていることを心の底からありがたく思い、その感謝の念を行動に表してゆくのがひのきしんです。その表れ方は^{せんさばんべつ}千差万別ですが、動機は共通しています。

人さまに、たとえひと言でも親神様のお話を取り次ぐのも、ひのきしんであるといわれています。一人で近所のごみ拾いをするのもひのきしんなら、献血の呼びかけも、あるいはボランティアに励むのも、みな、ひのきしんに変わりありません。

ひのきしんは、夫婦そろってするのがよいとされています。また、こうした行為は人に言われてするのではなく、自ら進んですべきものであり、そうであってこそ、おのずと幸福な人生への種蒔（たねま）きとなるのです。

ひのきしんは理論ではなく実践です。心で思っているだけで何もしないというのでは、ひのきしんになりません。日々のたゆみない実践で、信仰の喜びを深めたいものです。

